5.1ch Sound Bar

FUN LIVE

取扱説明書

FunLogy

⚠警告　安全上のご注意

製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告・安全上重要なお願い

このマニュアルに書かれてある注意事項をよく読み、それに沿って正しくお使いください。

雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。 液体が入った物品を製品の近くに置かないよう注意してください。 液体が侵入すると、漏電によって感電や火災の原因となることがあります。

許可なく製品を分解、修理、改造しないでください。安全性、法令の遵守、および システムパフォーマンスを損なう原因となり、製品保証が無効となる場合があります。またパーツなどのメンテナンスサービスには対応しておりませんので不具合発生時は販売店にご連絡ください。
火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを束ねて使用しないでください。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグの根本を直接引っ張り、決してコードを引っ張らないでください。

本製品は、湿気、直射日光、埃っぽい場所を避けて保管してください。
本などの重たいものを機器の上に置かないでください。
電力供給には、必ず付属の電源アダプタをご使用ください。
強い磁力の近くに設置しないでください。
防水型では無いため、風呂場などで使用しないでください。
感電や怪我の原因となるため、製品を分解しないでください。
濡れた手で製品を触れないでください。感電の原因となります。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら・煙が出たら、異常に発熱したら
電源を切る　電源プラグをコンセントから抜く
お買上げ店に修理依頼をする

目次

箱の中身を確かめる 4
本製品でできること 5
各部の名称とはたらき 6
　サウンドバー本体正面・裏面 6
　本体上面タッチパネル 7
　入力端子接続部 8
　サブウーファー 9
　リアスピーカー(メインスピーカーR/L) 10
　リモコン 11
本機を使う準備をする 12
　起動方法 12
　基本の接続 13
　ケーブル接続先　参考図 14
　OPTICAL 接続(光デジタル) 15
　HDMI および HDMI(ARC)接続 16
　AUX 接続(ライン) 16
　COAXIAL 接続(同軸デジタル) 17
　壁に取り付ける 18
　各スピーカーの設置位置 19
　基本操作　各スピーカーのペアリング 20
音声を聞く 22
　テレビや他の機器の音声を聞く　ケーブル接続 22
　Bluetooth　接続で音楽/音声を聞く 23
　5.1 サラウンド再生について 24
困ったときは 25
その他 27
　主な機能 27
　再生できる音声ファイル 27
　Bluetooth 無線技術 27
　アフターサービス 28
　主な仕様 29
保証書 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。

箱の中身を確かめる

付属品

製品に下記が付属されていることをご確認ください。

万が一足りないものがありましたら、 FunLogy お問い合わせフォームよりお問い合わせください。

●サウンドバー本体

●リアスピーカーL

●リアスピーカーR

●サブウーファー

① リモコン

② HDMI ケーブル

③ コアキシャルケーブル

④ 光デジタルケーブル

⑤ オーディオケーブル
（リアスピーカーL/R 接続用）

⑥ 壁掛け用部材（固定用部品×2、壁掛け固定ネジ(大)×2、本体取り付けネジ(小)x4、コンクリートプラグ×2）

⑦ AC アダプタ（サウンドバー用）

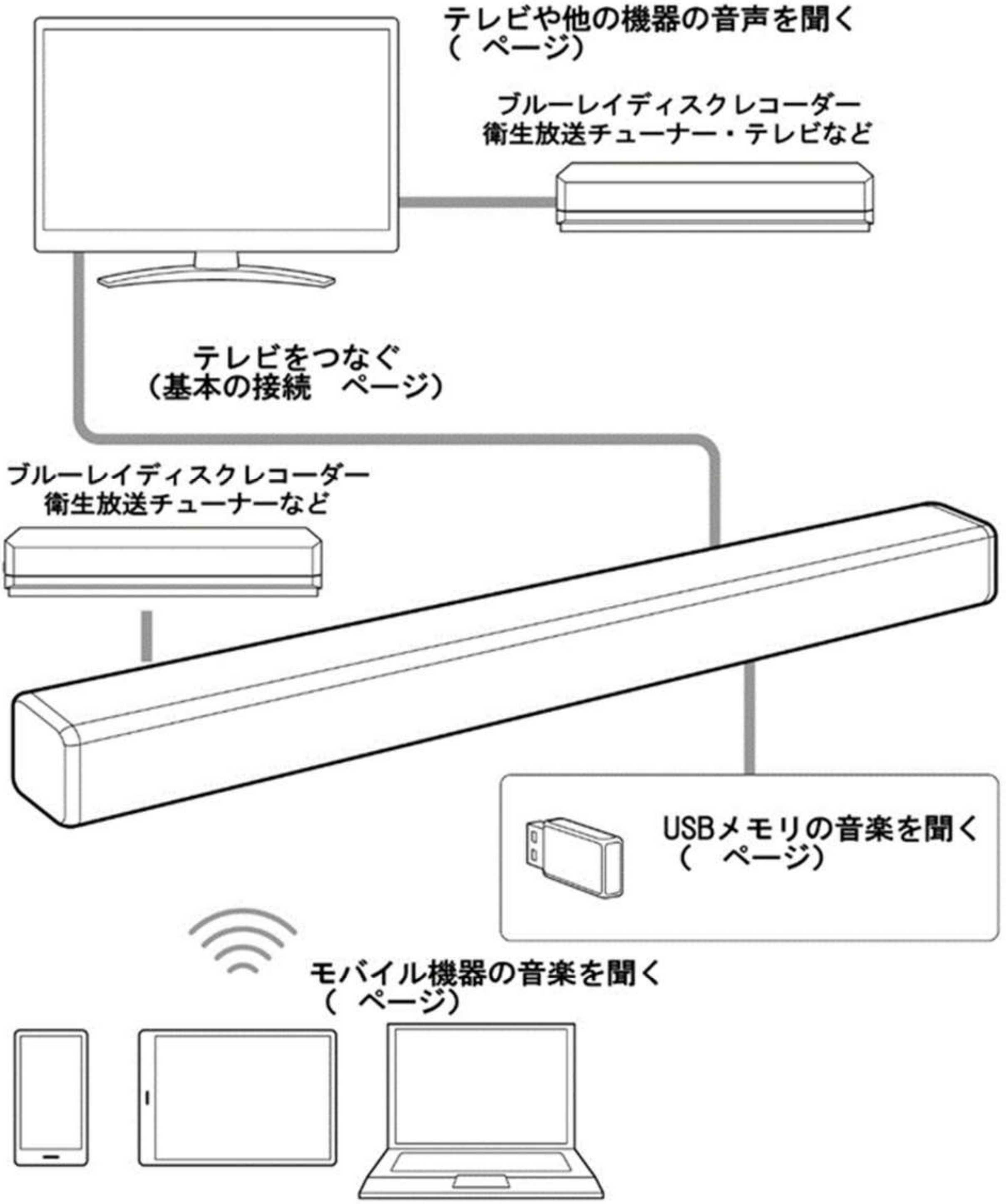
⑧ AC アダプタ(リアスピーカー用)

⑨ 電源ケーブル（サブウーファー用）

⑩ 取扱説明書（本書）

⑪ 保証書（本書の末尾）

本製品でできること

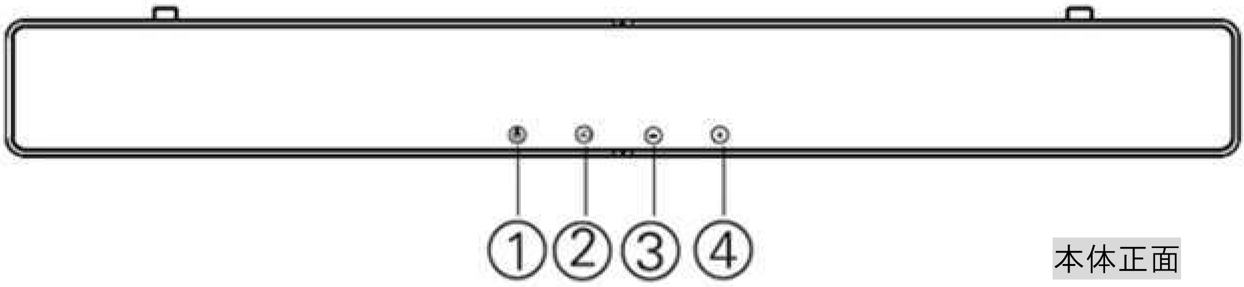


テレビや他の機器の音声を聞く
（ ページ）
ブルーレイディスクレコーダー
衛生放送チューナー・テレビなど
テレビをつなぐ
（基本の接続 ページ）
ブルーレイディスクレコーダー
衛生放送チューナーなど
USBメモリの音楽を聞く
（ ページ）
モバイル機器の音楽を聞く
（ ページ）

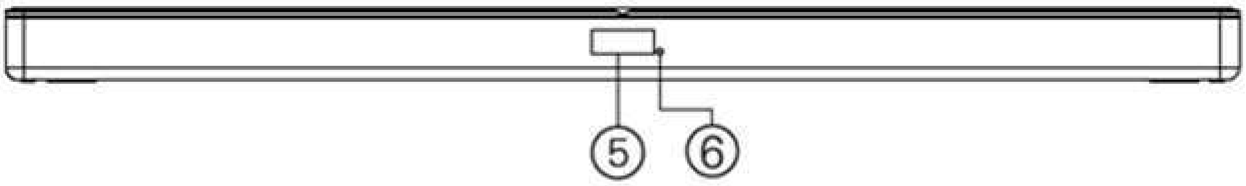
各部の名称とはたらき

サウンドバー本体正面・裏面

本体上面

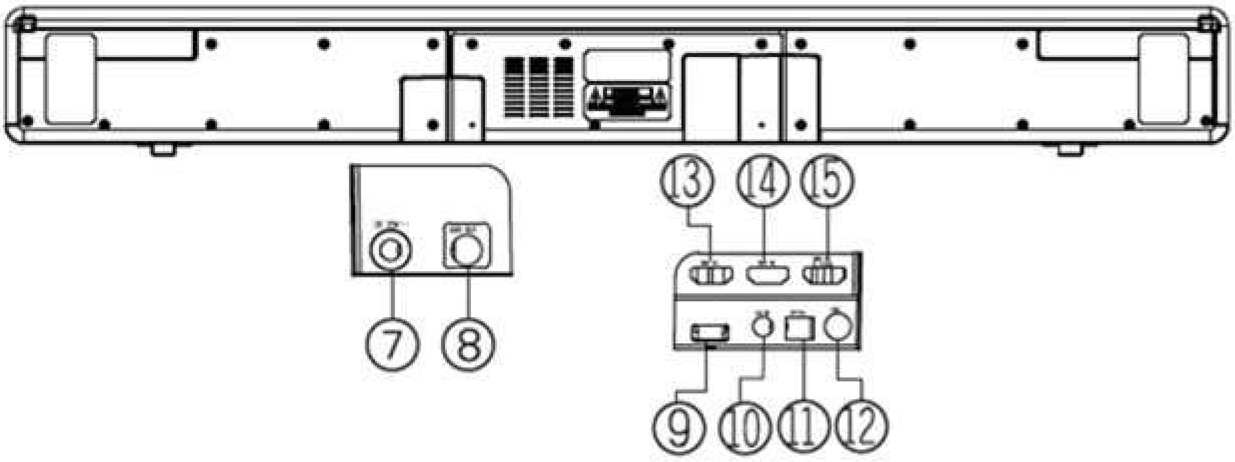


本体正面



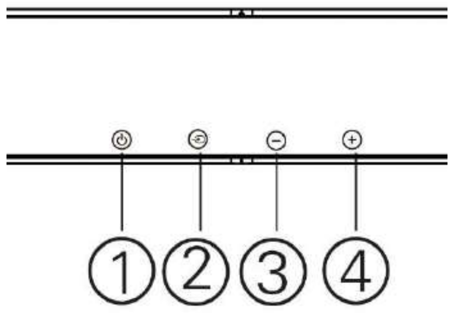
①電源ボタン　②ソース切り替え
③音量ー　④音量＋
⑤LEDディスプレイ　⑥リモコンセンサ

本体裏面



⑦DC IN端子　⑧サブアウト
⑨USB端子　⑩3.5mmアナログ端子
⑪光デジタル入力　⑫コアキシャル入力
⑬HDMI1インプット　⑭HDMI2インプット
⑮HDMI(ARC)

本体上面タッチパネル



① 電源 ON･OFF　パネルにタッチすることで電源の ON･OFF ができます。

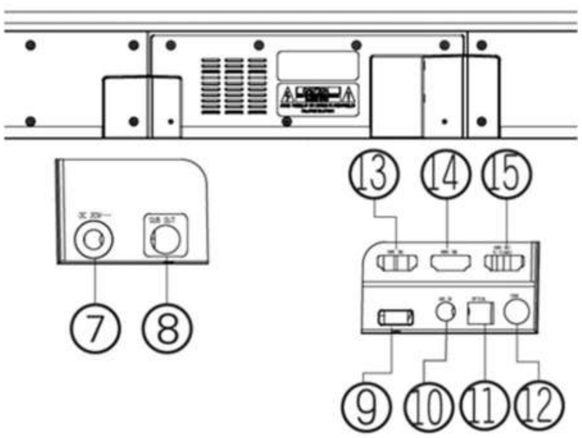
② 入力ソース切換(AUX→BT→USB→OPTICAL→COAXIAL→HDMI(ARC)→AUX)

パネルにタッチする度に入力ソースが切り換わります。

③ 音量－　音量を小さく調節します。

④ 音量＋　音量を大きく調節します。

入力端子接続部



⑦ DCIN(20V) 付属の電源アダプタを接続します。

ACアダプタ
(サウンドバー用)

---

⑧ SUB OUT 外部サブウーファーを接続することが出来ます。

---

⑨ USB メモリ接続口 音楽データを保存したUSBメモリを接続します。
※USB端子はUSBメモリ内の音声データの再生のみご利用いただけます。

---

⑩ AUX IN 3.5mm ステレオ音声ケーブルで再生機器のイヤホンジャックやオーディオ出力と接続します。

---

⑪ OPTICAL 入力端子 光デジタルケーブルを使いテレビ等と接続します。
⑫ COAXIAL 入力端子 同軸デジタルケーブルで再生機器と接続します。

⑬ ⑭ HDMI1 HDMI2 インプット HDMI出力端子のある機器(ブルーレイディスクレコーダーやiPhoneなど)をHDMIケーブルやHDMI変換ケーブルで接続します。

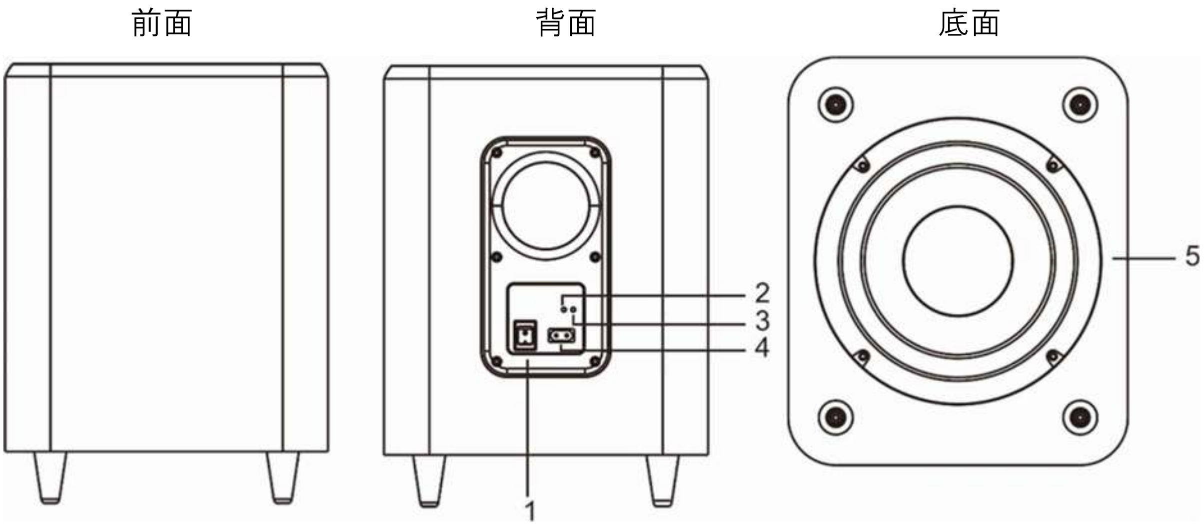
---

⑮ HDMI OUT(ARC) テレビのHDMI(ARC)入力端子と接続します。本機はARCに対応しています。
ARCとはHDMIケーブルを通して、テレビの音声を本機などの AV 機器に送る機能です。※テレビ側もARCに対応している必要があります。

※接続する機器によっては付属のケーブルで接続できない場合があります。その際は別途ケーブルをお買い求めください。

※光デジタル接続時は出力機器側(テレビなど)の設定が必要な場合があります。(項目:基本の接続参照)
※出力機器側の取り扱い説明書を確認してください。

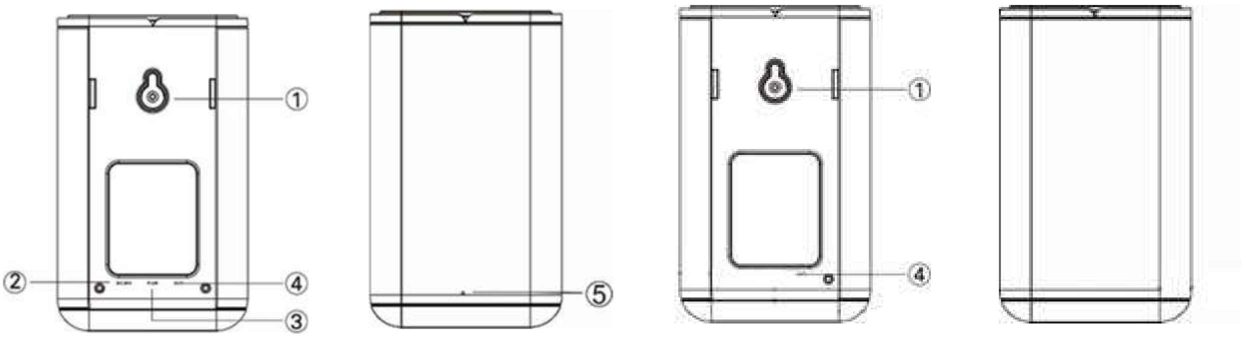
サブウーファー



1. 電源オン/オフスイッチ
2.ペアリングボタン
3.ペアリングインジケータ(点灯ブルー・・・リンク、点滅ブルー・・・リンクなし)
4. 電源ケーブル差込口 AC IN
5.サブウーファースピーカー

リアスピーカー（メインスピーカーR/L）

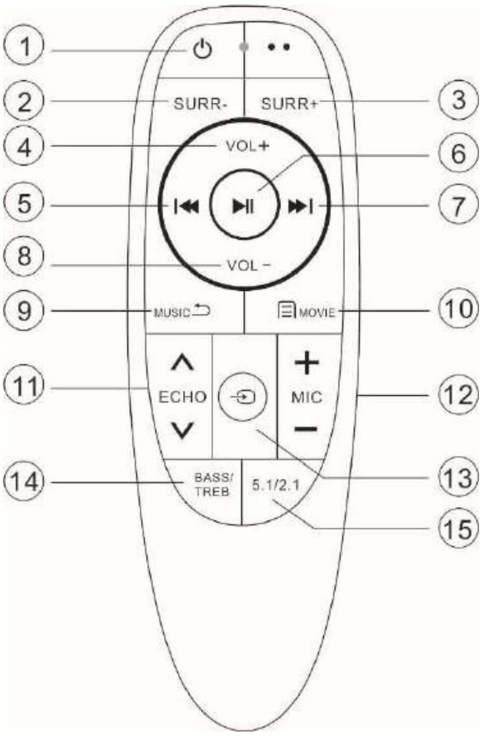
R 背面　R 前面　L 背面　L 前面



1.壁面取り付け穴
2.DC IN 付属の AC アダプタを接続します。

3.ペアリングボタン
4.オーディオアウトジャック(付属のオーディオケーブルでリアスピーカー(R)とリアスピーカー(L)を接続します。
5. ペアリングインジケータ（ブルー点灯・・・リンク中、ブルー点滅・・・リンクなし）

リモコン



① ：機器の電源を ON モードとスタンバイモードに切換える。

②. SURR- :リアスピーカーの音量レベルを下げる。

③ SURR+ :リアスピーカーの音量レベルを上げる。

④ VOL+ :メインの音量を上げる。

⑤ Bluetooth/USB モード：前のトラックにスキップします。

⑥ Bluetooth/USB モード：再生を開始または一時停止します。※3 秒間押し続けると現在の Bluetooth 接続を切断し新しいペアリングを開始します。

⑦ Bluetooth/USB モード：次のトラックにスキップします。

⑧ VOL- :メインの音量を下げる。

⑨ MUSIC ：サウンドモードを音楽に切換えます。

⑩ Movie ：サウンドモードを映画に切換えます。

⑪ 使用しません。

⑫ 使用しません。

⑬ /入力切換えボタン ケーブル接続・USB の入力ソースを変更します。(HDMI→USB→AUX→OPT→COAXIAL→BT→HDMI)

⑭ BASS/TREB： 低音と高音の調整モードを切換えます。

1 回押すと低音調整モードになります。VOL+/VOL-のボタンで大きさを調整できます。

2回押すと高音調整モードになります。VOL+/VOL-のボタンで大きさを調整できます。

⑮ 5.1/2.1 スピーカーの出力を 2.1 チャンネルと 5.1 チャンネル出力モードに切換えます。

※Bluetooth 再生時、アプリや接続デバイスによっては曲送りや一時停止に対応していない場合がございます。

※リモコンは本体に向けてご使用ください。

※使用時、落として壊さない、また液体をこぼさないよう、ご注意ください。

※リモコンを熱源の近く、直射日光、湿気の多い部屋に置かないでください。

本機を使う準備をする

起動方法

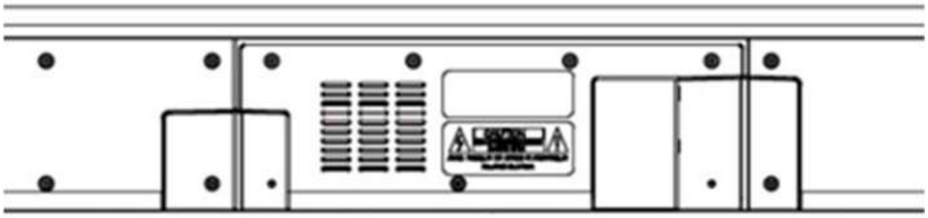
電源を入れる

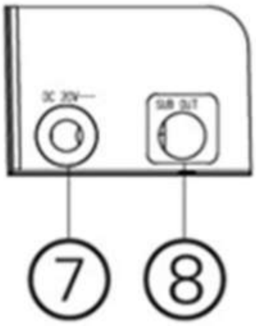
① ACアダプタの接続は、サウンドバー本体から接続してください。

② DC IN(下図7)にACアダプタを接続(DC20Vの表記)

③ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

④ リモコン又は天板の電源ボタンを長押しして電源を入れます。
本体中央のLEDが点灯します。





ACアダプタ
(サウンドバー用)

電源アダプタが極端に発熱した場合は直ちに使用を中止し、
販売店にご連絡ください。
必ず上記手順に従って操作してください。

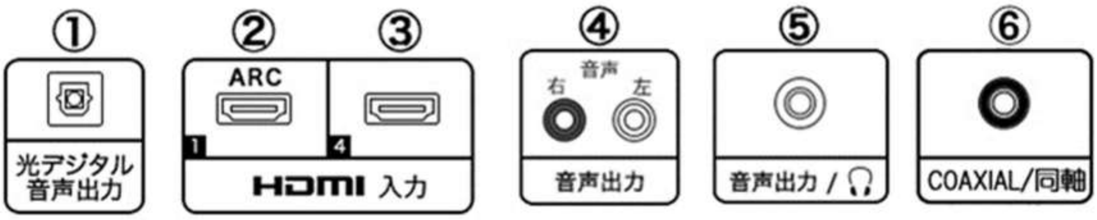
基本の接続

各機器の音声出力端子に合わせて、ケーブルを接続し、リモコン又は本体操作によって入力信号源を変更してください。

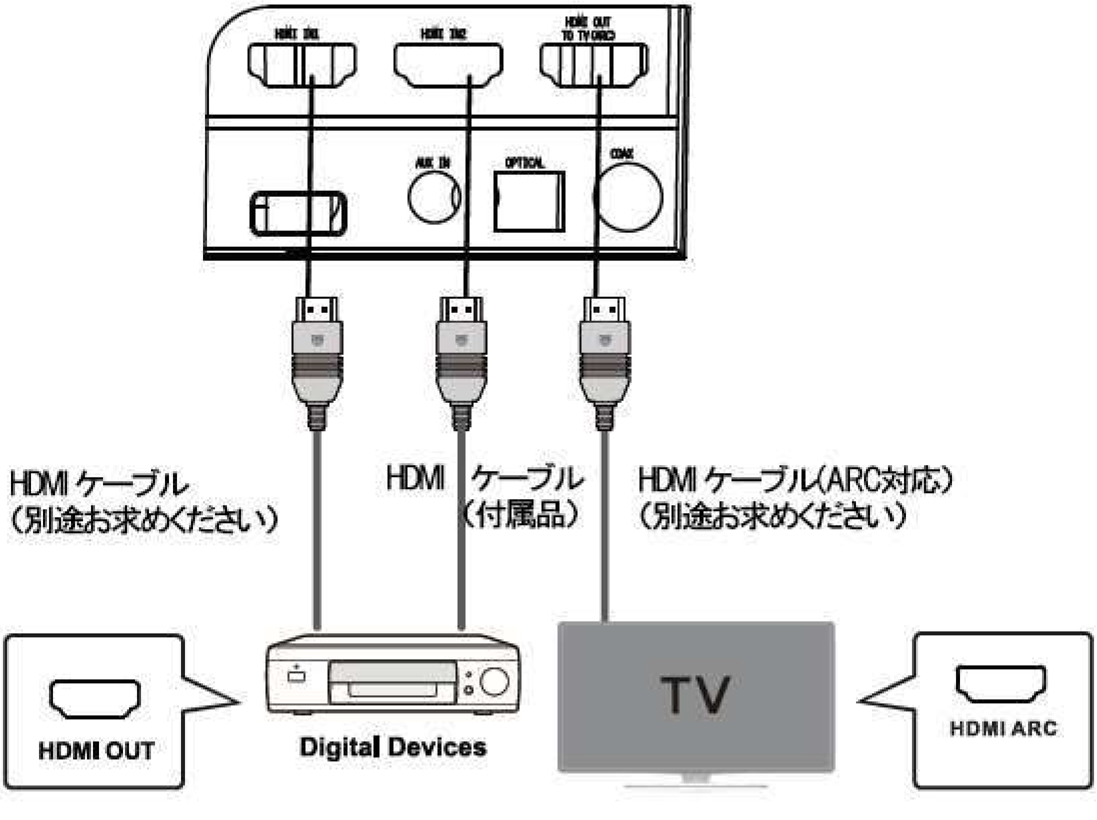
接続方法	ケーブル	パネル表示
AUX	3.5mmステレオ音声ケーブル	AUX
COAXIAL	同軸デジタルケーブル	COX
OPTICAL	光デジタルケーブル	OPT
HDMI 1	HDMI 1ケーブル	Hd-I
HDMI 2	HDMI 2ケーブル	Hd-2
ARC	ARCケーブル	ARC

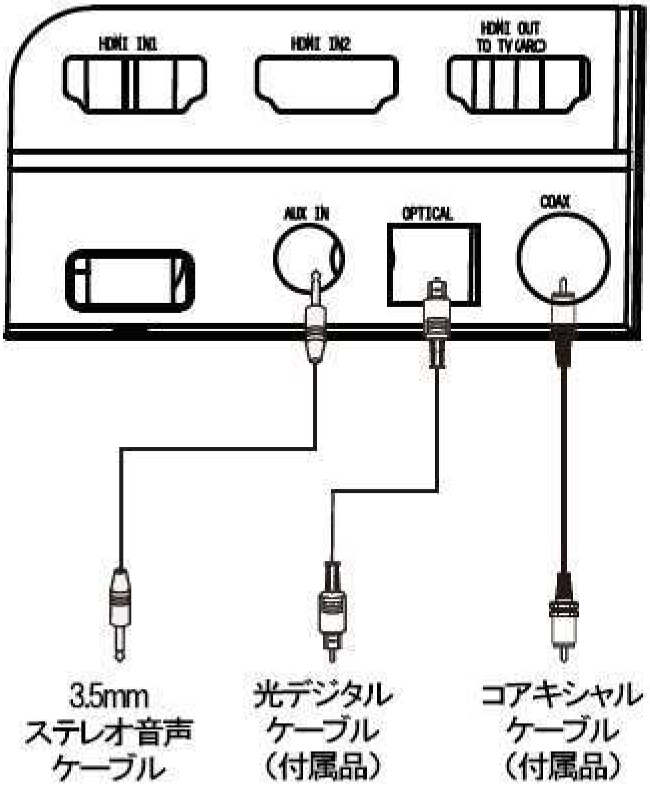
テレビなどの接続可能な端子

① 光デジタルケーブルで接続(付属品)
② HDMI(ARC)ケーブルで接続
③ HDMI ケーブルで接続(付属品/1本)
④ オーディオケーブルで接続
⑤ 3.5mm ステレオ音声ケーブルで接続
⑥ コアキシャルケーブルで接続(付属品)

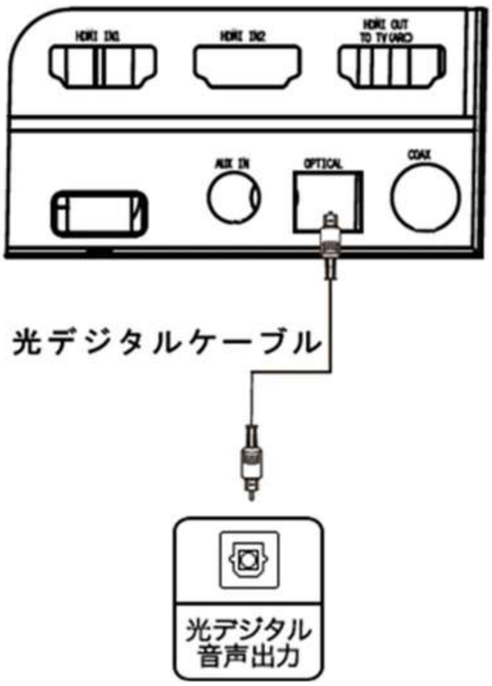


ケーブル接続先　参考図


HDMI ケーブル
（別途お求めください）
HDMI ケーブル
（付属品）
HDMI ケーブル(ARC対応)
（別途お求めください）
HDMI OUT
Digital Devices
TV
HDMI ARC


HDMI IN1
HDMI IN2
HDMI OUT
TO TV(ARC)
AUX IN
OPTICAL
COAX
3.5mm
ステレオ音声
ケーブル
光デジタル
ケーブル
（付属品）
コアキシャル
ケーブル
（付属品）

OPTICAL 接続(光デジタル)

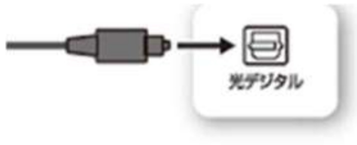


光デジタルケーブル(付属品)を使用してテレビ・ブルーレイディスクレコーダーなど再生機器の光デジタル音声出力に接続します。

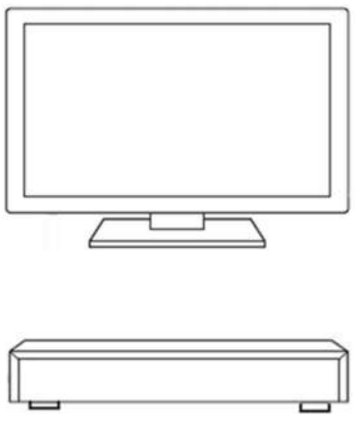
※ケーブル差込口にカバーが付いていますが外さずにそのままケーブルをきっちり奥まで差し込んでください。

※光ケーブルは白い保護キャップを取り外す

※接続の際は端子と差込口の方向を合わせて接続してください。

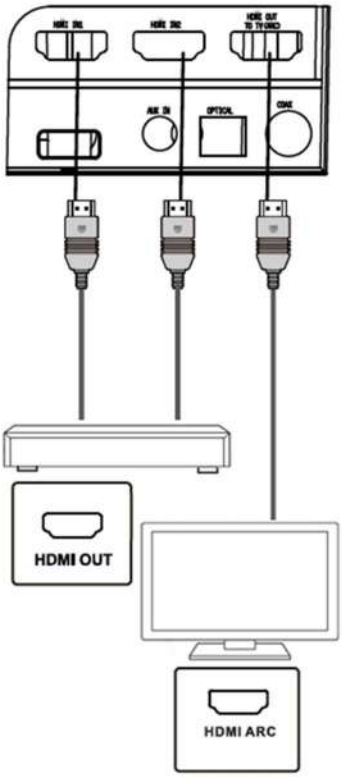


テレビやブルーレイレコーダーなどの再生機器



※パネル表示は OPT に切換

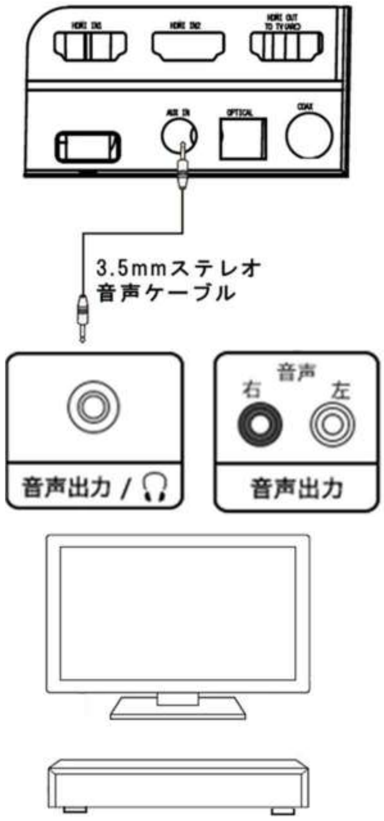
HDMI および HDMI(ARC)接続



HDMI ケーブル(付属品)使用してテレビ・ブルーレイディスクレコーダーなど再生機器の HDMI 出力に接続します。もう一方の端子をスピーカー側の HDMI1 または HDMI2 に接続します。
HDMI(ARC 対応)ケーブルを使用してテレビの HDMI(ARC)入力に接続します。もう一方の端子をスピーカーの HDMI(ARC)出力に接続します。
※2 本目の HDMI ケーブルおよび HDMI(ARC 対応)ケーブルは別途ご用意ください。

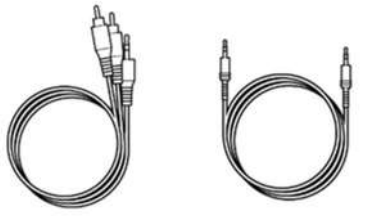
HDMI 接続時のパネル表示は Hd-1
または Hd-2 に切換
HDMI(ARC)に接続時のパネル表示は
ARC に切換

AUX 接続(ライン)



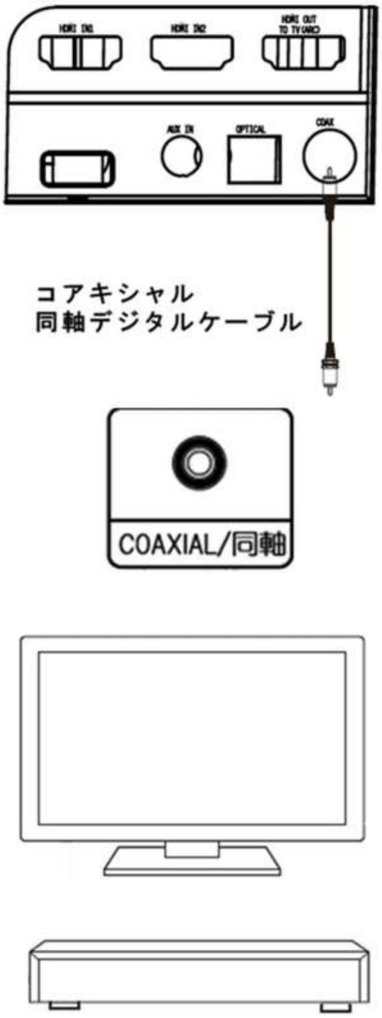
オーディオケーブル・3.5mm ステレオ音声ケーブルを使用してテレビ・ブルーレイディスクレコーダーなど再生機器のオーディオ出力・イヤホンジャック等に接続します。

※接続端子に合うケーブルを別途ご用意ください。

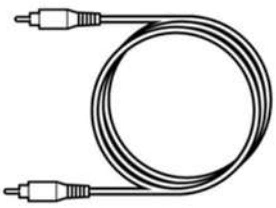


※パネル表示は AUX に切換

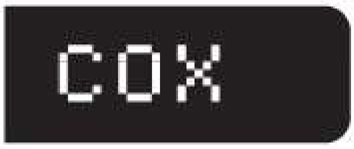
COAXIAL 接続(同軸デジタル)



コアキシャル同軸デジタルケーブルを使用してテレビ・ブルーレイディスクレコーダーなど再生機器のコアキシャル同軸音声出力に接続します。



※パネル表示は COX に切換



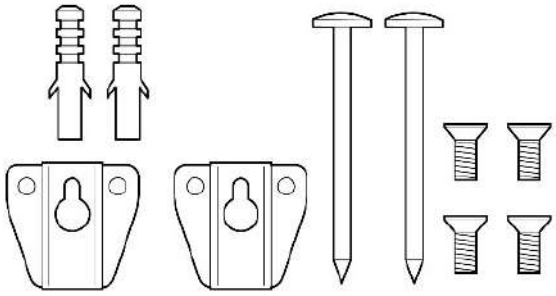
壁に取り付ける

ご注意

- サウンドバーの壁への固定は壁に穴を空ける必要があります。
  取付工事は専門業者に依頼してください。
  設置方法を間違えると、本機が落下し怪我の原因になります。
- 壁の材質や強度をご確認ください。壁の材質によっては破損するおそれがあります。ネジは柱部分にしっかりと固定してください。スピーカーは補強された壁に水平に取り付けてください。
- 安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。
- 設置完了後、サウンドバーがしっかりと壁に固定されていることを確認してください。
  取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、一切責任を負いません。

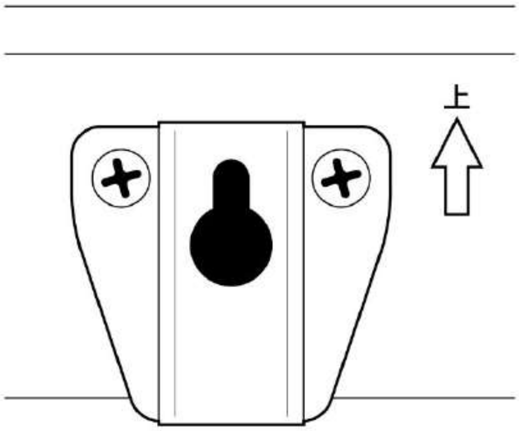
壁掛け用部材　付属品

固定用部品×2
壁掛け固定ネジ（大）×2
本体取付ネジ（小）×4
コンクリートプラグ×2

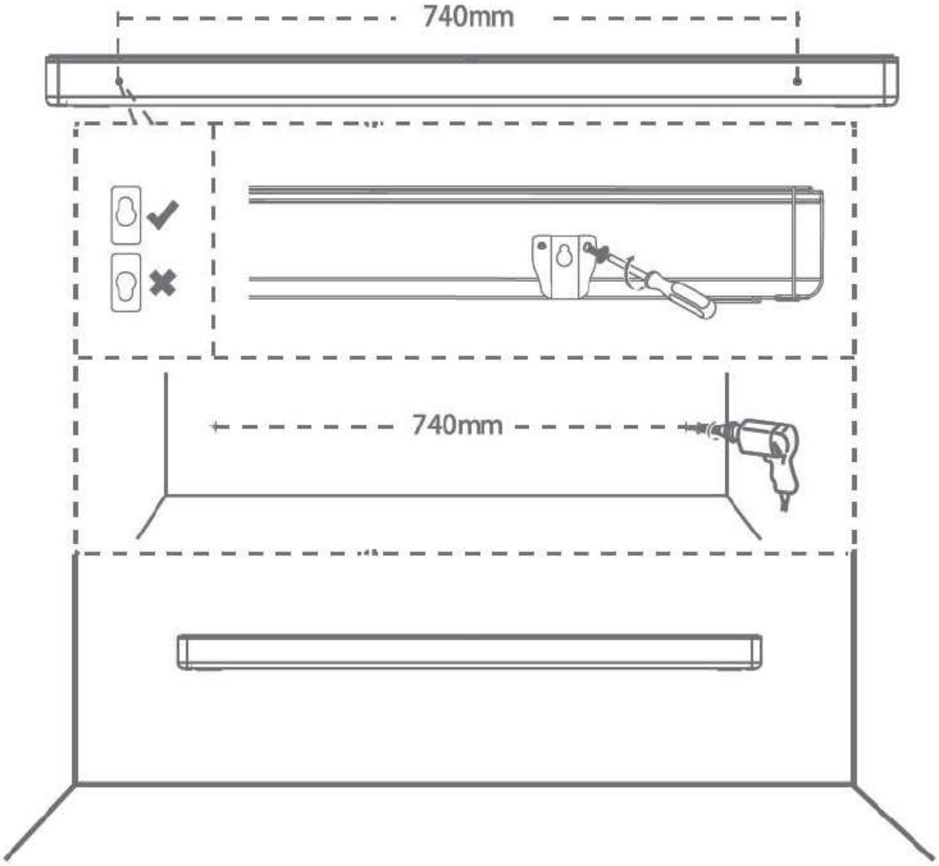


次の手順でスピーカーを壁に取付けることができます。

① 固定用部品を本体取り付けネジ（小）で本体背面に取り付けます。※取り付けは下図の向きで取り付けます。



② 壁掛け固定ネジ（大）×2 を電動ドライバーなどを使用して、壁に取り付けます。
その際間隔は 740mm 離して取り付けてください。
※取り付ける壁の強度を確認してください。下地がない壁に取付けると落下の危険性があります。

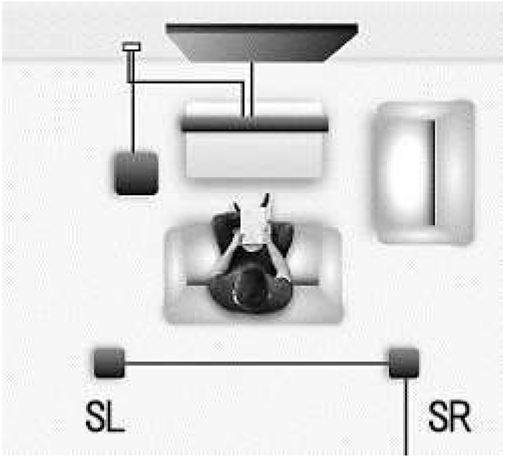


③ サウンドバー背面に取り付けた固定用部品の穴を②で取り付けた壁掛け固定ネジ（大）にかける。
※コンクリートプラグはコンクリートの壁に取付ける際にご使用ください。

各スピーカーの設置位置

各スピーカーは右図のようなイメージで
視聴位置を囲むように配置して下さい。
後方スピーカーの音量は独立して調整ができます。設置位置の問題で音が大きい・小さいなどの場合は、リモコンにて音量を調節して下さい。

サブウーファーは音の指向性が有りませんので
設置位置は自由にお決め下さい。

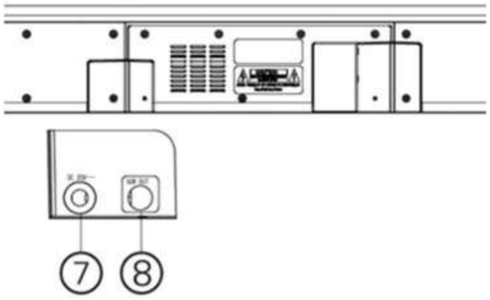


基本操作　各スピーカーのペアリング

電源オン/スタンバイ

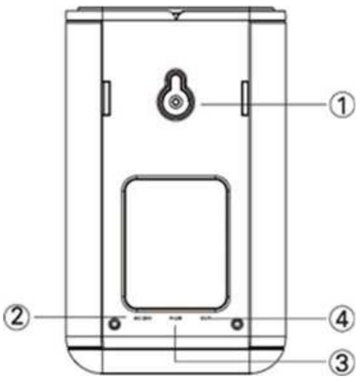
初回使用時にサウンドバーとサブウーファー・リアスピーカーのペアリングが必要です。

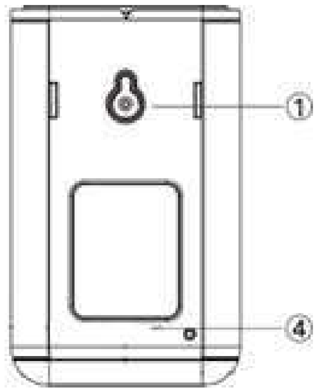
1. AC 電源アダプタ(20V/3A)の DC プラグをサウンドバー本体の DC IN ジャックに差し込み AC アダプタをコンセントに接続します。

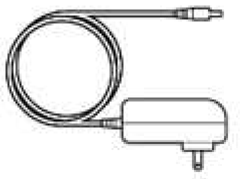


ACアダプタ
(サウンドバー用)

AC 電源アダプタ(リアスピーカー用)の DC プラグをリアスピーカー(R)に接続します。
リアスピーカー(R)とリアスピーカー(L)を付属のオーディオケーブルで接続します。



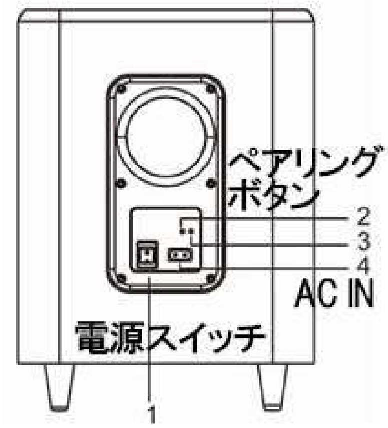




ACアダプタ
(リアスピーカー用)

2. サウンドバーの ⏻ を押すと、サウンドバーがオンになります。
   LED ディスプレイが点灯し、最後に使用されたモードが表示されます。

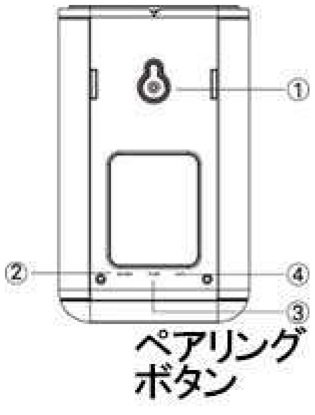
3. 電源コードのコネクタをサブウーファー背面の AC IN に差し込み、AC プラグをコンセントに接続します。電源オン/オフスイッチを ON にしてサブウーファーの電源を入れます。インジケータが青色で点滅します。



4. サブウーファーとサウンドバーをペアリングするには、 リモコンの /SOURCE ボタンを約 5 秒間押し続けます。ディスプレイに「ペアリング」が表示され、サブウーファーやリアスピーカーとペアリングする準備が整います。

5. 「ペアリング」がサウンドバーに表示されてから 15 秒以内にサブウーファーの背面にあるペアリングボタン(約 5 秒)を長押しします。
サブウーファーのペアリングインジケーターがブルーの点灯になりましたらペアリング完了です。

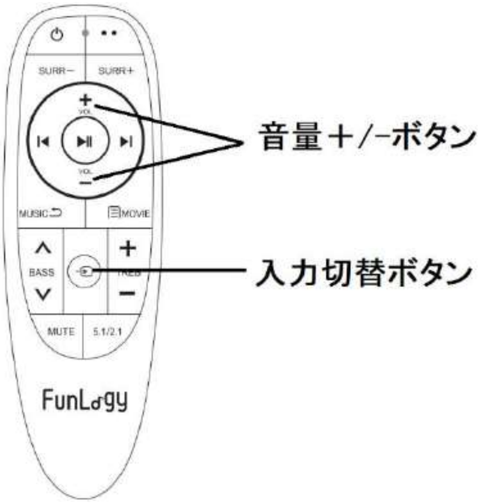
6. 上記の手順 4 を繰り返し、「ペアリング」が表示されてから 15 秒以内にリアスピーカー(R)の背面にあるペアリングボタンを長押し(約 5 秒)します。リアスピーカー(R)前面のペアリングインジケーターがブルーの点灯になりましたらペアリング完了です。



メモ
・・・サブウーファーまたはリアスピーカーがサウンドバーと一度ペアリングされている場合
次回からの使用時には自動的に接続されます。

音声を聞く

テレビや他の機器の音声を聞く　ケーブル接続



接続方法	ケーブル	パネル表示
AUX	3.5mmステレオ音声ケーブル	AUX
COAXIAL	同軸デジタルケーブル	COX
OPTICAL	光デジタルケーブル	OPT
HDMI 1	HDMI 1ケーブル	Hd-I
HDMI 2	HDMI 2ケーブル	Hd-2
ARC	ARCケーブル	ARC

1　入力切換ボタンを繰り返し押す。

ボタンを押し接続したケーブルに合わせて入力を切り換える。
押す度に HDMI→USB→AUX→OPT→COAXIAL→BT→HDMI）のように入力が切り換わります。
次に再生機器で音声を再生する。

2　リモコンの音量▲/▼ボタンで音量を調節する。

☆スピーカー本体の上面操作パネルで入力切換・音量調節をすることもできます。（項目：本体上面タッチパネル参照）

HDMI 接続

ARC でテレビと接続している場合はテレビの電源 ON でスピーカーの電源も ON になります。（テレビ側で HDMI 外部接続の電源連動設定が必要な場合があります。また、一部対応していないテレビもあります。）

スピーカーに接続したブルーレイレコーダーなどを再生する

テレビ側・・・テレビに接続した端子に対応する入力に切換える。
スピーカー側・・・スピーカーに接続した再生機器に対応する入力に切換える
※HDMI1とHDMI2 は同時に再生できません。HDMI1とHDMI2 に再生機器を接続した場合、最初に電源を入れた側が優先となります。例）HDMI1を再生する場合は HDMI2 に接続した再生機器の電源を切ります。HDMI2 を再生する場合は HDMI1 に接続した再生機器の電源を切ります。
※ARC とは HDMI ケーブルを通して、テレビの音声を本機などの AV 機器に送る機能であり、テレビ側も ARC に対応している必要があります。
※ARC 接続以外の方法でテレビとスピーカーを接続している場合、スピーカーに接続したブルーレイレコーダーなどの再生機器の映像はテレビに映し出すことは出来ません。

USB メモリ内の音声データの再生

USB メモリをサウンドバーの USB 端子に挿入する。

入力切換ボタンを押して入力を USB に切り換える。

再生ボタンを押すと音声の再生が可能です。

パネル表示

メモ

対応した音声ファイルは下記形式のファイルになります。

(MP3/WMA/APE/WAV/FLAC)

Bluetooth 接続で音楽/音声を聞く

スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器と Bluetooth 接続してモバイル機器の音楽をワイヤレスで聞くことができます。

1 リモコンの BT ボタンを押して、再生モードを Bluetooth に変更します。

2 本体の LED 表示パネルが“bt”に変わり点滅します。（ペアリング待機状態）

3 Bluetooth 機器側の設定

PC やスマートフォンなどの Bluetooth 機器側で Bluetooth 機能を有効にし、Bluetooth リストが表示されたら“FUN LIVE”を選択します。

※パスコードを要求された場合は「0000」を入力します。

4 本体の LED 表示パネル“bt”が点灯していることを確認する。

本機とモバイル機器との接続完了。

※2回目以降の接続はサウンドバー本体の電源 ON 又は Bluetooth 機器側で Bluetooth を有効にした際に自動接続されます。

5 モバイル機器の音楽再生アプリで音楽を再生する。

スピーカー本体から音楽が出力されます。

リモコンの |◀◀ ▶▶| ボタンで曲送り･曲戻しができます。リモコンの▶‖ボタンで再生/一時停止

ができます。

メモ

モバイル機器からも音量調節･曲送り･曲戻し･一時停止･再生などの操作は可能です。

新しく Bluetooth 機器を接続したい場合は、現在接続している Bluetooth 機器の Bluetooth 機能を無効にしてください。リモコンの再生ボタンを長押しすることでペアリングの解除ができます。

5.1 サラウンド再生について

本製品はドルビーデジタルサラウンドの入力に対応しています。

リアル 5.1 再生条件

音源が Dolby デジタル 5.1 以上であること。
接続は HDMI・光デジタル・コアキシャル・Bluetooth であること。
再生機器側で音声出力を Dolby デジタルサラウンドに切換えていること。

Dolby デジタル 5.1 以上の場合は 5.1 に変換して再生されます。
DTS サラウンドなど他のサラウンド音声には対応しておりません。
2ch ステレオ音声を入力した場合はリモコンの 5.1/2.1 ボタンで切換えることにより
擬似的な 5.1 サラウンドで再生できます。

困ったときは

困ったときは

本機の調子がおかしいとき、お問い合わせ頂く前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、販売店にお問い合わせください。

電源

◎電源が入らない

・電源ケーブルが正しく刺さっていない可能性があります。奥まで差し込んでください。

それでもつかない場合は販売店へお問い合わせください

スピーカーのペアリングができない

◎リアスピーカー、サブウーファーとのペアリングができない

・基本操作　各スピーカーのペアリングを参考に再度ペアリング操作を行う

リモコン

◎リモコンが反応しない

・電池容量が足りない可能性があります。電池を新品に交換してください。

・本体までの距離が遠すぎると反応しません。本体の近くで操作してください。

・本機の前に障害物があると反応しません。障害物を取り除いて下さい。

光ケーブル接続

◎光ケーブル接続時、音が出ない

・出力機器側(テレビや DVD プレイヤー)の音声出力設定が正しくされていない可能性があります。以下を試してください。

①出力機器の音声出力が光デジタルになっていることを確認する。

②ドルビーデジタルをオフにする。

③PCM 音声に切換える。

※方法につきましては、お手数ですが出力機器のメーカーへお問い合わせください。

・スピーカーの入力設定が異なっている可能性があります。リモコンの入力切替ボタンでスピーカーの入力を OPt に切り替えてください。

・音量が0になっている可能性があります。リモコンの音量ボタンを押して音量を上げてください。

本体や電源アダプタ

◎大音量で再生した際に本体が熱を持つ。
・正常です。音量を小さくして下さい。
◎電源アダプタが熱を持つ。
・正常です。コンセントに繋いでいる場合は熱を持ちます。
ただし異常に発熱する場合、電源アダプタの故障の可能性があります。ただちに使用を中止して販売店に連絡してください。

Bluetooth 接続

◎サウンドバーと Bluetooth 接続できない
・接続先の Bluetooth 機器の電源が入っていない、または Bluetooth 機能が有効になっていない可能性があります。Bluetooth 機器の電源を入れる、または Bluetooth 機能を有効にしてください。
・Bluetooth 機器と本体の距離が遠すぎる可能性があります。
Bluetooth 機器を本機にできるだけ近づけてください。
・無線 LAN や他の 2.4GHz無線機器、電子レンジなどの影響を受けていないか確認してください。電磁波を発生する機器がある場合は、その機器を本機から離してください。
・他の Bluetooth 機器が近くにあるとペアリングできない場合があります。その場合は、その Bluetooth 機器の電源を切ってください。
◎Bluetooth 接続時に音が出ない。
・Bluetooth が接続されていない可能性があります。Bluetooth 機器の再起動・再接続をしてください。
・Bluetooth 機器の音量が小さい可能性があります。Bluetooth 機器側で音量を上げてください。
・サウンドバーの音量が小さい可能性があります。サウンドバーの音量をリモコンの音量ボタンで上げてください。

その他疑問点・ご不明点

その他、疑問点やご不明点などございましたら、公式サイトのお問い合わせフォームまたは LINE@よりお問い合わせください。LINE@では新製品の情報や購入者限定のお得な情報もお届けしております。是非ご登録下さい。

その他

主な機能

・ 簡単ワイヤレス接続での 5.1ch サラウンド
・ AUX 入力、コアキシャル入力、デジタル入力による有線接続での音声再生
・ USB メモリ内の音声、音楽ファイルの再生
・ Bluetooth を利用した各種機器の再生

再生できる音声ファイル

USB メモリ接続時のご注意

・ ファイルのフォーマットや圧縮状況、録音状態によって再生できない、または無音で再生されることがあります。
・ パソコンで編集したファイルは再生できないことがあります。
・ デジタル著作権管理(DRM)などで保護されたファイルは再生できません。
・ USB メモリは必ず以下のフォーマットのものをご使用ください。

対応フォーマット

FAT/FAT32/NTFS

対応音声形式

MP3/WMA/APE/WAV/FLAC

Bluetooth 無線技術

Bluetooth 無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ 10m 程度までの距離で通信を行うことができます。

Bluetooth 機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記の Bluetooth バージョンとプロファイルに対応しています。対応 Bluetooth バージョン:Bluetooth 標準規格 Ver. 4.0
対応プロファイル Bluetooth(A2DPAdvancedAudioDistribution Profile):高音質な音楽コンテンツを送受信する。
AVRCP(Audio Video Remote
Control Profile):再生、一時停止、停止など、AV 機器を操作する。

ご注意

・ Bluetooth 機能を使うには、相手側 Bluetooth 機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth 機器の仕様により機能が異なる場合があります。
・ Bluetooth 無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。

通信有効範囲:見通し距離約 10m 以内で使用してください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されています。（説明書末尾ページ）
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまず「困ったときは」の項を参考にして故障かどうかを点検してください。
それでも具合の悪いときは販売店の相談窓口へ
販売店の相談窓口へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 製品の型名 FUN LIVE
- 接続しているテレビやその他の機器のメーカーと型名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
ただし、故障の状況その他の事情により修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます

主な仕様

モデル	5.1ch サウンドバー FUN LIVE
サイズ	サウンドバー 幅 998mm×奥行 110mm×高さ 58mm リアスピーカー(L) 90mm×奥行 90mm×高さ 150mm リアスピーカー(R) 90mm×奥行 90mm×高さ 150mm サブウーファー 250mm×奥行 300mm×高さ 313mm
重量	サウンドバー 3.25kg リアスピーカー(L) 0.67kg リアスピーカー(R) 0.67kg サブウーファー 6.6kg
対応電圧	AC 100～240V 50Hz/60Hz
パワー出力	サウンドバー 4Ω1.74 インチ 10W×4/4Ω 45×100 ㎜ 15Wx4 リアスピーカー(L) 8Ω 2.5 インチ 20W リアスピーカー(R) 8Ω 2.5 インチ 20W サブウーファー 4Ω 8 インチ 100W
再生周波数帯域	40Hz～20kHz
SN 比	90dB 以上
Bluetooth バージョン	4.2
入力感度	700±50mV
ディストーション	0.5%以下
最大通信距離	10m(障害物が無い時)
対応音声形式	MP3/WMA/APE/WAV/FLAC
本体表示	LED ディスプレイ表示
入力端子	AUX 入力×1、光デジタル入力×1、コアキシャル(同軸デジタル)端子×1、HDMI 入力×2、HDMI(ARC)×1、USB×1、Bluetooth
付属品	リモコン/HDMI ケーブル/コアキシャルケーブル/光デジタルケーブル/オーディオケーブル/AC アダプタ(サウンドバー用)/ AC アダプタ(リアスピーカー用)/電源ケーブル/壁掛け用部材/取扱説明書/保証書(説明書末尾ページ)

※仕様および外観は改良のため予告なしに変更することがあります。
　実機と異なる場合は、実機の仕様・外観が優先されます。

FunLogy

保　証　書

<table>
<tr><td>製品名</td><td></td><td rowspan="3">お
客
様</td><td rowspan="2">お名前・ご注文番号</td></tr>
<tr><td>お買上げ日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td>保証期間</td><td>ご購入日より
１年間</td><td>販売店・ご注文サイト</td></tr>
</table>

本書は FunLogy 正規販売店でお買い上げの日から上記期間中に正しい使い方をして故障が発生した場合に、無料修理を行うことをお約束するものです。

ご購入から１年を経過した商品については、有償対応となりますのでご了承ください。有償修理において部品の調達ができない場合は、修理不可となる場合もあります。

ご購入後１ヶ月以内の不良（初期不良保証）の場合は当店が送料を負担いたします。
ご購入後１ヶ月を経過した場合　１年以内の故障の場合は送料お客様負担となります。
お買い上げいただいた製品のレシート又は各種ショッピングサイトの注文番号と一緒に保存してください。

無料保証規定

1.正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。送料につきましてはご購入後 1 ヶ月以内の不良(初期不良保証)の場合は当店が送料を負担いたします。ご購入後 1 ヶ月を経過した場合 1 年以内の故障の場合は送料お客様負担となります。本書記載の修理対応の内容をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行いたしませんので大切に保管してください。)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口は(1)お買い上げの販売店、(2)本書記載のお問い合わせ窓口になります。

2.購入後1年間の保証期間内および購入後1ヶ月の初期不良保証期間でも次の場合には有料となります。
(1)本書のご提示がない場合又はご注文番号の確認が取れない場合
(2)本書のお買い上げ年月日、お客様名、販売店名を書き換えた場合
(3)お買い上げの年月日、販売店が確認できない場合
(4)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合
(5)使用上の誤り(取扱説明書の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷
(6)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷
(7)お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷
(8)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障・損傷
(9)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷
(10)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換
3.故障状況その他事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
4.修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。
5.本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
6.故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
7.記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
8.機器にインストールされたアプリのアップデートによりアプリが使用できない場合の保証はいたしません。
9.本書は日本国内でのみ有効です。日本国外で発生した故障、事故等につきましてはいかなる内容も保証しかねます。
10.中古品については FunLogy 正規販売店以外で購入された商品はサポート対象外となります。

※本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間後の修理については取扱説明書をご覧ください。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。

お問い合わせ窓口

製品型式

公式サイト　お問い合わせページ

https://funlogy.jp/pages/purchaser

メールでのお問い合わせ

support@funlogy.jp

LINE でのお問い合わせ　月曜から金曜 10:00～18:00

「FunLogy」で検索　または下記の QR コードから友達登録

LINE

FunLogy 公式サイト

Ver201015